

生活の中で「みえる」

高次脳機能障害

～気づきと支援を深めるために～

2025年11月30日(日) 13:00～16:00
(受付 12:30～)

スペースアルファ三宮 (特大会議室)

講師・プログラム

一部：講演 (13:00～14:50)



青木 重陽 先生

神奈川リハビリテーション病院
リハビリテーション部 部長 医師

「気づきの基盤となる安定
した生活の構築」



野々垣 睦美 先生

特定非営利活動法人 高次脳機能障害 友の会ナナ
クラブハウスすてっぶなな 統括所長 作業療法士

「高次脳機能障害がある方の
地域生活を支える～知る・
気づくから未来を育む～」

二部：兵庫県の状況と取り組み
質疑応答

(15:05～16:00)

- ・兵庫県の相談状況と支援の取り組み
- ・質疑応答
- 「ここが聞きたい！高次脳機能障害
～気づきと支援を深めるために～」

定員

会場 90名

オンライン 200名

会場の定員が上限に達した場合、オンラインでの参加をご案内させていただく場合がございます。

対象

当事者・家族・医療・福祉・
行政・教育・企業など、その他
支援に携わる方

高次脳機能障害とは

高次脳機能障害とは、けがや病気などにより、脳が損傷することと起こる言語や記憶、注意などの認知機能の障害です。受傷・発症前にできていたことができなくなり、仕事や生活など様々な場面で支障をきたすことがあります。

お申込み

参加には事前申し込みが必要です。下の二次元コードまたは裏面の用紙を用いてFAXでお申込みください。



締め切り

11月20日(木)

お申込み時に記入していただいた個人情報は、研修に関する事務手続きにのみ使用いたします。

裏面へ